



ウクライナは紛争下で3度目の冬を迎えます

戦争が長期化するウクライナ - ユニセフの支援で、教室に戻った子どもたち

ウクライナで2022年2月に戦闘が激化してから、2年9カ月が経過しました。今も戦争が終結する見通しは立っていません。ウクライナ全土でインフラが攻撃の標的にされるなか、水道やガス、電気の供給網も深刻な打撃を受けています。寒さが厳しい地域において、暖房のない生活は命に関わる問題です。安心して過ごせる場所であるべき学校も、停電が頻繁に起きたり、暖房設備が備わっていなかったりすることで、特に気温が低くなる時期に教室が閉鎖され、子どもたちは学校で過ごすことができませんでした。

冬は教室で授業を受けられない

2023年の冬、ウクライナのキロヴォヴォラード州ノヴォロドカにある学校では、児童500人以上がリモート授業や家庭学習を余儀なくされてきました。ディミトロ・ミドニコフ校長は、「校内が寒いので、暖房が必要な間はオンラインでの授業に切り替えざるを得ませんでした。でも、社会にふさわしい価値観や態度を習得していく過程において、教室で子どもたちが共に学ぶことはとても重要です。リモート授業や学習では、それを十分に育むことはできません」と課題を語ります。この学校に通う9歳のプラトンさんは、「暖房がないと教室がとても寒くて、去年は半年以上、授業がオンラインになりました。でも、友だちに会いたかったし、学校で勉強したかった」と振り返ります。



(ウクライナ、2024年3月撮影) ©UNICEF
ユニセフによる暖房設備と発電機の支援により、寒い季節も教室で学ぶことができるようになった、ノヴォロドカの学校の子どもたち

暖かくなった教室、戻ってきた子どもたち

子どもたちが学習を続けられるよう、ユニセフは学校に設置する固形燃料ボイラーと発電機の購入を支援しました。固形燃料ボイラーによる暖房のおかげで、教室や廊下の気温は、外が凍えるような日でも22℃を下回ることはありません。さらに発電機があることで、停電中でも授業を続けられるようになりました。戦争が続くウクライナでは、空襲を知らせるサイレンが鳴るたびに、子どもたちや教師、学校職員は地下のシェルターにすぐに避難し、時には長時間の待機を余儀なくされます。はじめめとして寒かったシェルターも、ユニセフが設置を支援した高性能の暖房システムのおかげで、乾いた暖かい環境が保たれています。飲料水タンクも設置され、子どもたちが、飲み水に困ることなく長い時間過ごすこともできるようになりました。ユニセフは、ウクライナのための資金支援を通じて、子どもたちの教育を支えています。この支援は、校舎の暖房や給水などの設備を整え、食堂や厨房を修繕することで、子どもたちが寒い時期も含めて年間を通じて学校に通えるようするとともに、発電機を提供することで、停電時やシェルターに避難している間も安全に過ごせることを目的としています。



©UNICEF
ユニセフが支援した発電機により、停電時でも子どもたちは学習を続けることができる(ウクライナ、2024年3月撮影)

●(公財)日本ユニセフ協会は、ユニセフ「ウクライナ 緊急募金」を受付しています。
最も支援を必要としている子どもたちとその家族に支援を届けるため、ご協力をお願い申し上げます。

●全国の郵便局(ゆうちょ銀行)窓口からお振込みできます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「ウクライナ」と「K1-350」と明記ください。

*窓口でのお振込みは、送金手数料が免除されます。

*寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。



日本ユニセフ協会
ウクライナ緊急募金特設ページ

「ユニセフのこと」「世界の子どものこと」を多くの方に知っていただく出前学習。この秋は昨年よりもたくさんの機会を得ることが出来ました。また年末恒例のユニセフ募金「ハンド・イン・ハンド」も、県内各地で多くのボランティアの方々の応援もいただきながら開催。たくさんの皆さんから暖かいご支援を頂戴することができました。

●各地・各所でパネル展を開催しました。

今年の方針だった「県内全市・全町でのパネル展開催」。秋から冬にかけて残りの市町で展示をおこない、年度方針を達成することができました。

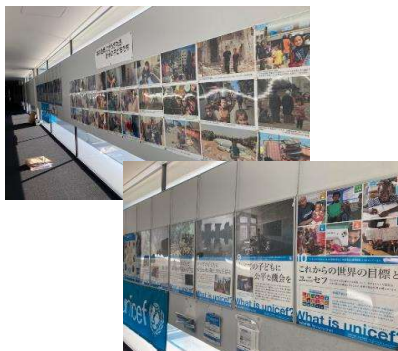
●山口市阿知須でのパネル展

山口市立阿知須図書館1階ロビー
9月27日(金)～10月23日(水)



●周南市でのパネル展

周南市役所渡り廊下
9月17日(日)～9月25日(水)



●周防大島町でのパネル展

大島文化センター1階ロビー
10月2日(水)～10月16日(水)



●岩国市でのパネル展

岩国市立周東中学校
10月10日(木)～10月21日(月)



●柳井市でのパネル展

柳井市役所1階ロビー
10月16日(水)～10月30日(水)



●宇部市でのパネル展

宇部市立常盤中学校
11月6日(水)～11月12日(火)



●ユニセフ クリスマス会を開催しました。

年末恒例企画「ユニセフクリスマスリース作り」。昨年開催した岩国の皆さんから今年も是非に！のリクエストをいただき、岩国市での二年連続開催となりました。

11月16日(土) コープやまぐち岩国センター集会室にて開催



- 総勢20名が参加。小さなお子さんも熱心にリース作りに取り組んでくれました。
- 参加費用300円(リース一つに付)は全額ユニセフ募金としました。
- 「ユニセフの活動」を紹介するDVD鑑賞の時間も設け、世界には楽しいクリスマスを迎えられない子どもたちもいることを学んでもらいました。

●出前学習会を開催しました。

「周南青年商工会議所」例会・「医療生協健文会」健康フェスタ・「宇部市立常盤中学校」人権学習会と、多くの皆さんが集う場で、一緒に「ユニセフと子どもの権利」について学ぶことができました。

●周南青年会議所例会出前講座

10月7日(月) 周南市遠石会館にて 受講人数：約80名



- 次代を担う若い経営者の皆さんは、社会問題への関心も高く、大変熱心に聞いていただきました。
- また、ネパールの水瓶運び体験やユニセフクイズなどにも積極的に参加いただきました。
- ユニセフ募金にも多くの方にご協力いただきました。

●宇部市立常盤中学校 出前授業

11月12日(火) 宇部市立常盤中学校体育館にて 受講人数：全校生徒536名と教職員、PTA役員等合計約580名



- 昨年秋開催の宇部市立西岐波中学に続き同じく宇部市立常盤中学校にお招きいただいたの開催となりました。
- 「子どもの権利」学習は、当事者ということもあり熱心に聞いてくれる姿に、講師役のボランティアスタッフ全員も感動を覚えました。

●医療生協健文会平和フェスタ 出前授業

9月28日(土) 宇部市多世代ふれあいセンターにて 受講人数：約100名



- 医療生協「健文会」の組合員さんが平和を共に考える集いのカリキュラムの1つとして「ユニセフと子どもの権利」授業の時間をいただきました。
- 出前授業と合わせ、展示ブースには「ユニセフてなあに?」「ガザの子どもたち」のパネル展示もおこないました。

●ユニセフ募金「ハンド・イン・ハンド」開催中！

11月から12月にかけての恒例企画「ユニセフ募金ーハンド・イン・ハンド」。まだまだ12月いっぱいまで続きますが、県内各地で開催しており、今年も多くの皆さんから暖かい善意をよせていただいています。



↑ 岩国市
フレスタモールカジル岩国にて



柳井市
柳井まつりにて



↑ 下関市
こと新下関店にて



山口市
こといづみ店にて



↑ 萩市
JAふれあいらんど萩にて

●新春恒例企画として好評の「ユニセフカレンダー募金」。2025年も「東京銀座伊東屋」さんのご協力により実施します。
お近くにお住まいの方、ご協力をよろしくお願い致します。

●新春恒例「カレンダー募金」開催予定

●「ユニセフカレンダー募金」って？

東京銀座にある老舗文房具店「伊東屋」さんのご厚意で、年末までに販売されなかったカレンダーを世界の子どもの支援に何か役立てられないかと日本ユニセフ協会に寄贈されたのが「ユニセフカレンダー募金」のはじまり。募金いただいた方へのお礼として、これらカレンダーの中から好きなものをプレゼントする企画です。
年が明けてのカレンダーとは言え、一年は始まったばかりですし、素敵なカレンダーということで、多くの皆さんにご好評いただいています。



●いつ、どこで？

コースやまぐち様のご協力により、下記生協4店舗サービスカウンターにて
2月中旬～3月中旬(店舗により若干の期間変更あり)で開催予定です。

- 山口地区「コースやまぐちこといづみ店」「コースやまぐちことどうもん店」
- 宇部地区「コースやまぐちこと宇部店」
- 下関地区「コースやまぐちこと新下関店」

各店100部用意

●募金いただく上でのお願い

募金はいくまで個人の善意に基づくものですが、伊東屋さんの「世界の子どもの支援に役立てて欲しい」との思いにお応えするため、**カレンダー1部につき200円以上の募金**をお願いします。

●ユニセフパネル展開催予定

●毎年開催してます山口県庁でのユニセフパネル展、今年も以下のスケジュールでおこないます。
近くにお住まいの方や県庁にご用の方、お立ち寄りください。

- 開催場所: 山口県庁1階ロビー展示コーナー
- 開催期間: 2025年 2月4日(火)～2月13日(木)

展示予定: 「ユニセフってなに？」
「ウクライナ関連パネル」

●賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。
山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

*賛助会員期間は入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
*一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。
また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
受付日 : 月・火・水・木・金
受付時間 : 10:00～16:00
山口県教育会館の裏になります。